



コッポラ帽をかぶったみかんちゃん  
写真提供：佐伯泰英事務所

# 佐伯通信

2018年3月(平成30)  
第42号  
発行  
佐伯泰英事務所  
担当/光文社  
禁・無断転載

## 犬のコッポラ帽

シチリアは動物にやさしい島だった。飼い犬もノラ犬も堂々と楽しげに生きていた。パレルモで買いたったコッポラ帽を一つ買った。コッポラ帽をかうことだ。コッポラ帽とはハンチング帽に似ている帽子と勝手に思っていた。F・コッポラ監督の名作『コッポラ』に出てくる、

マフィアの手下がかぶっていたのがコッポラ帽です。娘がわが飼ったみかんちゃん、イラストレーターの横田美砂緒さんちのさぶちゃんにコッポラ帽を求めると言い出し、町じゅうを探して回った。だが、さすがに犬にかぶせるコッポラ帽は見つからない。諦めかけたとき、ホテルの近くの間口一軒半ほどの店に小さなコッポラ帽が飾られてあった。中を覗くと頑固そうな親父がミシンを相手に仕事の最中だ。棚には素材の生地が詰め込まれている。入るのを躊躇ったが、一応様子

### 佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

7月 10日	6月 15日	5月 29日	4月 14日
『新・酔いどれ小籐次』 椿落つ 11	『異郷のぞみし』 青春篇	『新・古着屋総兵衛』 16	『鎌倉河岸捕物控』 32 シリーズ完結

近刊・作品情報はここでもチェックできます。  
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2018年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。  
(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社

## 犬の愛に嘘はない

みなさま、『秋霖やまず 吉原裏同心抄』をお読みいただきありがとうございます。佐伯先生のあとがきにもありますが、「吉原裏同心」が二十五巻の『流鶯』で一つの区切りを迎えて、「吉原裏同心抄」となりまして今作で三巻目となりました。

今回のカバーイラストでは、遠助らしき犬の凍々しい姿が描かれています。人気絶頂で落籍された薄墨太夫の後継者として期待されていたが、姉を亡くした件で幹次郎に憎しみを抱いていた桜季。彼女が唯一心を許す存在だったのが遠助でした。前作『浅き夢みし』のラストシーンを記憶の方も多々あると思います。その桜季の成長が今作の読みどころの一つでもあるのですが、そこで遠助が大きな活躍を見せます。

また、前回の佐伯通信のエッセイに続き、今回もシチリアでの犬に関するエピソードを先生に書いていただきました。みかんちゃん先生の愛らしい写真も素敵です！ 私自身もかつて、おじょうという名のシーズーを飼っていたことがあります。当時は週刊誌の編集部にもあり、毎晩のように帰宅が遅かったのですが、どんな時間に帰っても私の足音を聞きつけて、玄関を開けると必ずドアの前で尻尾を振って待っているおじょうが……。「犬の愛に嘘はない」——そんな懐かしい日々を思い出しました。

さて、今回の「吉原裏同心抄」三巻目の刊行を記念しまして、特製しおりをプレゼントいたします。詳細は本書の帯をご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしております。

窺いにドアを開けることにした。すると入口近くの台に耳の大きな、ライラという名の犬がいて、私たちを犬好きとかき分けたいか、飛びついてきて喜んだ。娘がその間に、「ウィンドーの小さな帽子は犬用か」と俄じこみのイタリヤ語で聞くと、「売り物じゃない」と一喝するように吐き捨てた。だが、あれこれと話しているうちに「造ってやるよ、二時間後に来い」と言われた。二時間後、造り立てのコッポラ帽二つ私たちを待っていた。なんとも早業だ。これでは犬用二

つだけ購入というわけにもいきまい。私どももコッポラ帽を買いたい。帰国後、横田さんに贈ると写真が送り返されてきた。さぶちゃんはシチリアのマフィア以上に「凄み」のある表情で写っていた。それに比べてわがみかんは……。

出版社からのお知らせ

**酔いどれ小籐次 決定版 完結記念 プレゼント**

3月9日刊行『状態騒動 酔いどれ小籐次(十九) 決定版』をお買い上げの方の中から抽選で、「特製小籐次手ぬぐい」をプレゼントいたします。カバーイラストの横田美砂緒さんオリジナルデザイン！

ふるってご応募ください。詳しくは、『状態騒動』の帯をご覧ください。

応募締切 2018年4月30日(月) 祝  
消印有効

文春文庫